

西鉄宮地岳線跡地整備に係る説明会

【次 第】

- 1 市挨拶
- 2 整備方針について
 - (1) 昨年度対話集会における主要意見
 - (2) 整備方針
- 3 整備（案）
- 4 意見交換
- 5 今後の進め方

1 市挨拶



2 整備方針について



2 (1)

昨年度対話集会における主要意見



花見東1区

令和5年12月9日 (木)



花見東2区

令和5年12月12日 (火)



北花見区

令和5年12月14日 (木)

主要なご意見	回 答
福津市方向からの車両が西鉄跡地側へ流入するのではないかと？	一定数流入するものと想定しておりますが、花見佐谷線の整備により、国道495号及び国道3号線方向へ車両の流れを良くすることで、著しい車両の流入はないものと想定しています。
国道495号の花見北交差点（花見佐谷線側）の渋滞を解消する案はあるのか？	花見佐谷線整備により右折レーンを設置します。また、北花見交差点の信号機の周期変更を含め警察と協議中です。
西鉄跡地を整備したらどれくらいの車両が流入し、それにより沿線地域にどれだけの不利益が出るのか？	具体的な数値を提示するのは難しいです。不利益前提で整備する路線ではなく、花見小学校周辺的生活道路の安全性向上や防災用道路としての活用を目的として整備するものです。
都市計画道路として決まったことを知らなかった。	平成26年3月に都市計画決定されました。当時、都市計画決定にあたり沿線の行政区ごとに説明会を行っています。
花見小学校付近の点滅信号機の交差点が非常に危険である。対策は考えているのか？	花見佐谷線の整備により車道を拡幅し、現在の狭隘な交差点形状が解消され、危険性は減少するものと考えています。
西鉄跡地は廃線当初に遊歩道になる案もあったはずだが、それはどうなったのか？	前市長時代より意思決定がなされ、現在、市計画道路として整備する方針です。行政としては、その前提に従って整備を進めていきたいと考えています。

※ 西鉄宮地岳線跡地は西鉄跡地と標記させていただきます。

主要なご意見	回 答
花見地区の雨水幹線は大雨時に非常に流れが強くなる。また、一部冠水することもある。冠水対策は考えているのか？	近年のゲリラ豪雨は想定をはるかに超える雨量となり、かなり難しい問題となっています。関係課も含め対応を検討中です。
松籟苑への通り抜け車両が増えるのではないかと？	概略設計や詳細設計において地元のご意見を聞きながら、西鉄跡地側との道路接続について検討したいと考えています。
旧西鉄花見駅の交差点付近で渋滞が発生するのではないかと？	渋滞が発生するかは現段階では推測が難しいです。今後の設計の際に車両通行も鑑み、交差点形状について警察と協議する予定です。
騒音対策や横断歩道などの要望は聞いてもらえるのか？	今後の設計において反映したいと考えています。説明会においてご意見をいただきたいと思えます。
2車線道路として整備するのか？	都市計画道路であるため2車線での整備を考えています。
現状の西鉄跡地の草刈りなどの維持費も鑑み、道路整備をしたとしても工事費に見合うだけの効果が出るか疑問である。	今回の整備は、費用対効果を目的とした整備ではありません。花見小学校周辺の生活道路の安全性や花見地区の防災用道路としての活用を目的として整備するものです。
西鉄跡地が整備された後に車両が速度を出して走行することが容易に予想できるが、対策は考えているのか？	道路構造も踏まえ、速度抑制対策について検討したいと思えます。
西鉄跡地よりも新宮古賀線を先に整備してもらいたい。	新宮古賀線については優先度の高い路線として認識しています。花見佐谷線の事業が完了した後、次期候補として検討します。
花見東2区で実施したワークショップの内容は把握しているのか？	把握しています。様々なご意見をいただいた上で判断しております。
住民の多数決で道路整備にするか決めることはできないのか？	住民の方により意見の相違はあると思えます。意見の相違が表面化するなどの懸案もあるので最終的に市長が判断します。
最終的に道路整備をすると決まったのか？	市長が対話集会等によりいただいたご意見をもとに令和5年度末に道路整備を行う判断をしています。

- 昨年度実施した対話集会等でのご意見を踏まえ、市として今後、道路整備を進めていく方針としました。
- 今年度は、昨年度の対話集会でいただいたご意見を基に概略設計を進めています。
- 本説明会では、概略設計により作成した平面図をご説明して、ご意見をいただくことで、今後の設計の参考とさせていただきます。

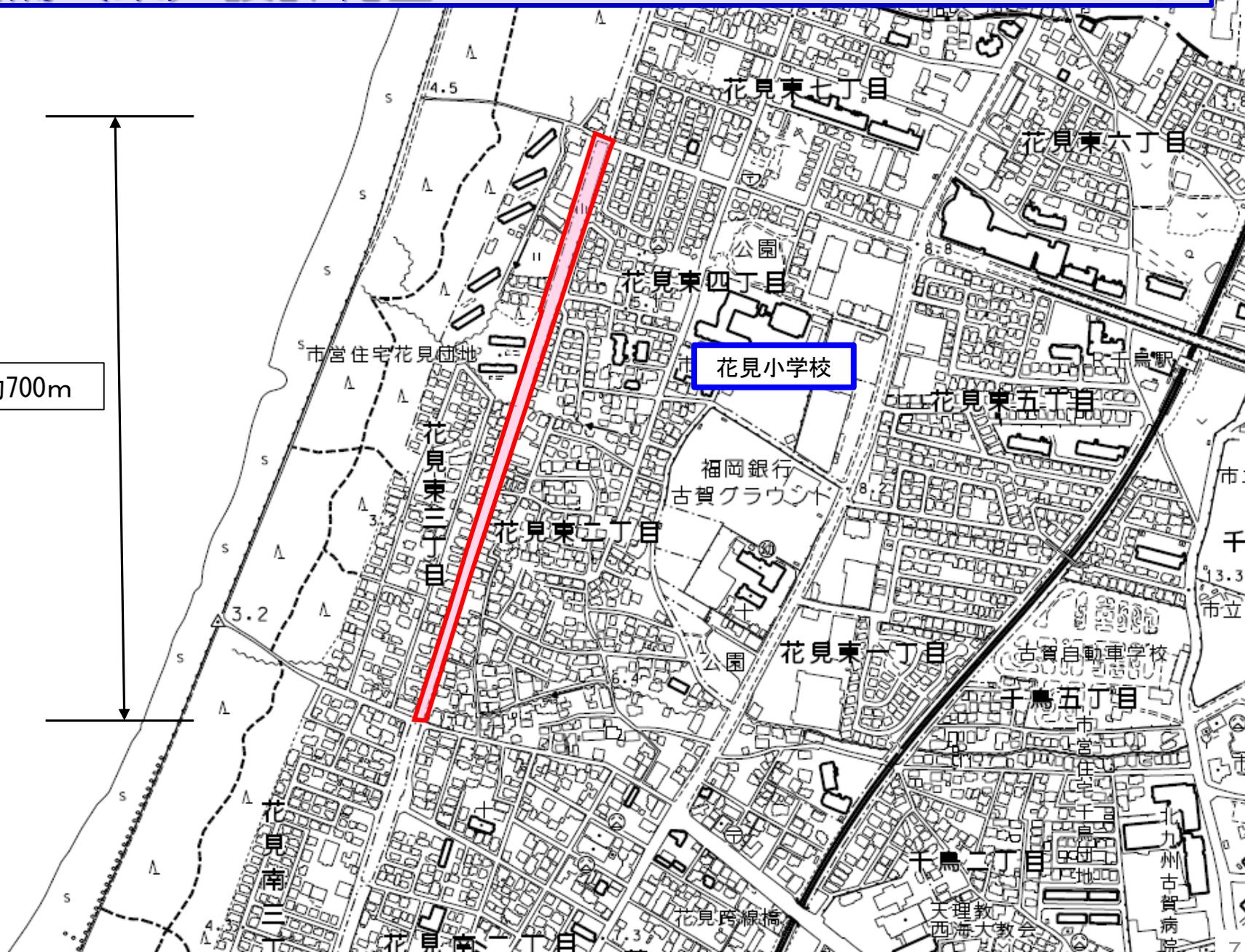
3 整備（案）



- 設計範囲
- 全体平面図
- 拡大平面図・イメージ図・イメージ動画
- 近傍での事例紹介

3 整備(案)設計範囲

設計範囲 L=約700m



市立
千
3.3
市立

九州古賀病院

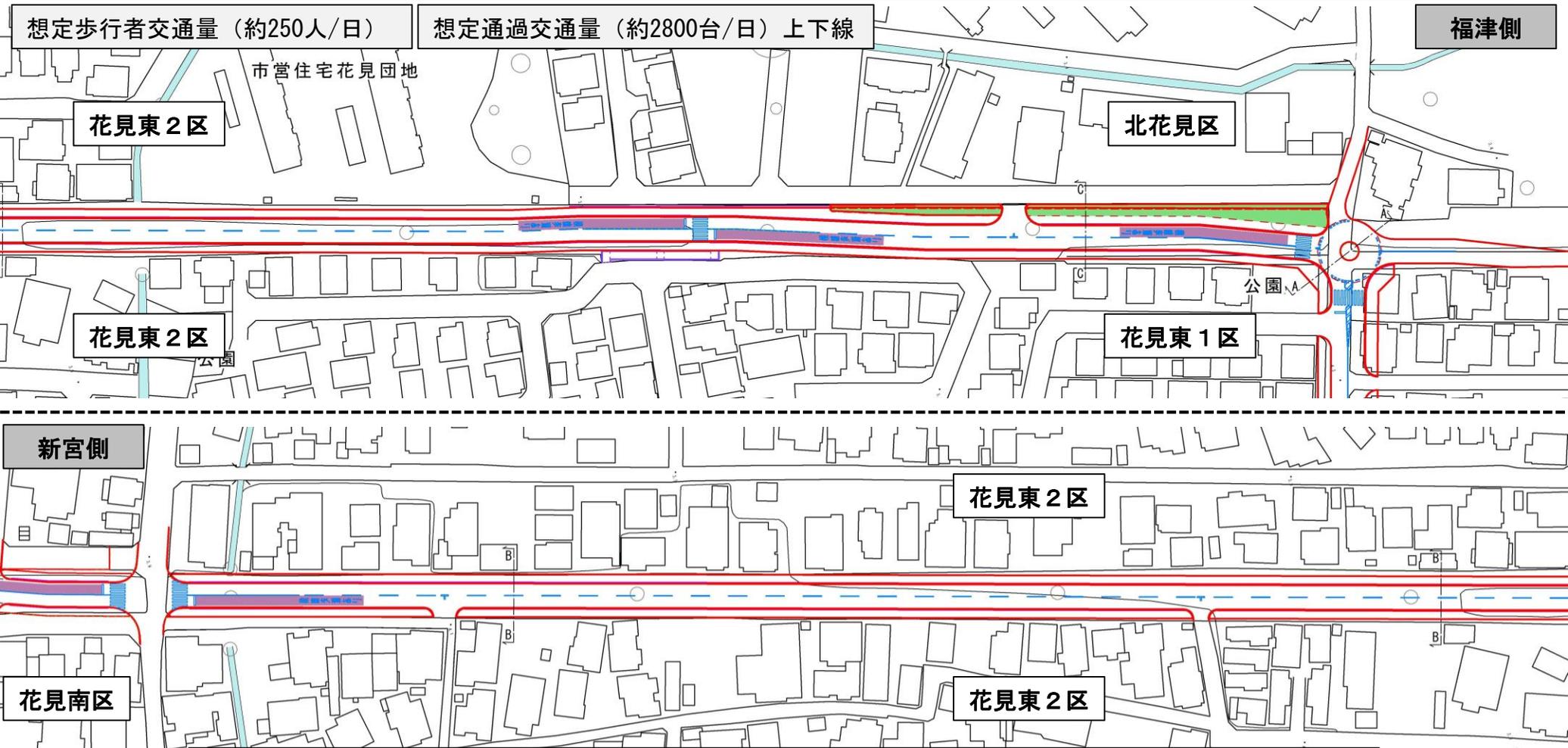
3 整備（案）全体平面図

【考え方】：2車線両側歩道にて整備を行う。この際、活用可能な既存道路は残し、部分的に植樹帯、緑地を配置する。また、矢羽根型路面標示の設置により歩行者と自転車の分離を促すとともにラウンドアバウト及び車線分離標の設置により車両速度の抑制を図る。

想定歩行者交通量（約250人/日）

想定通過交通量（約2800台/日）上下線

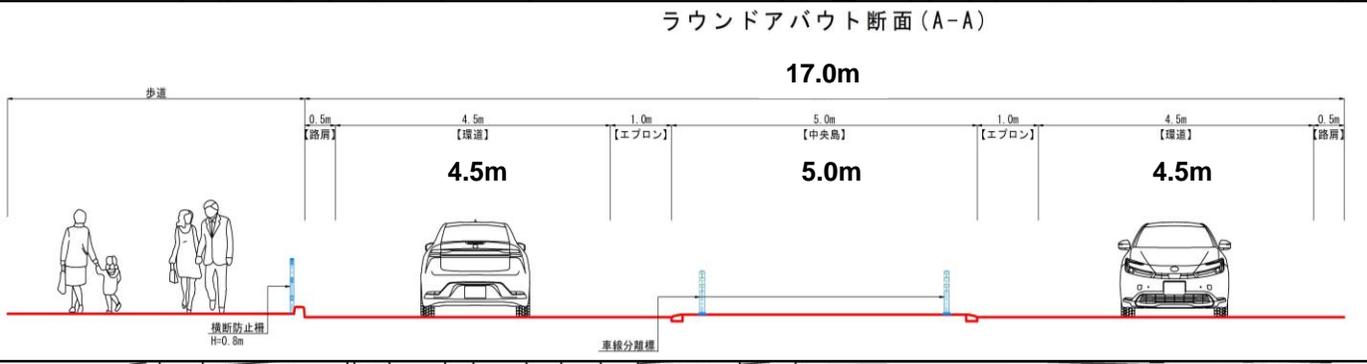
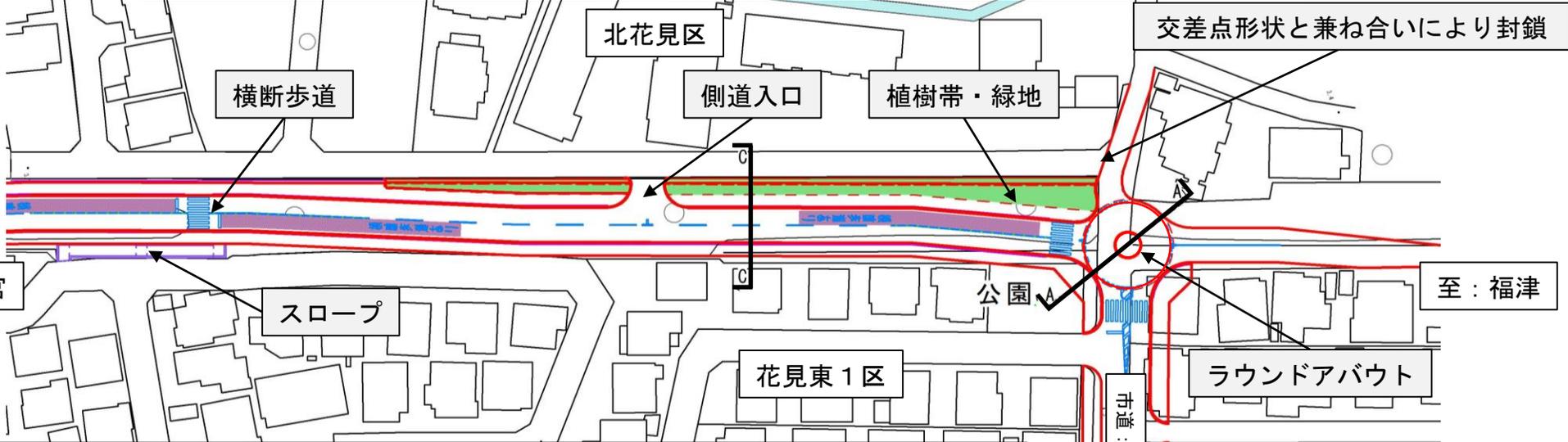
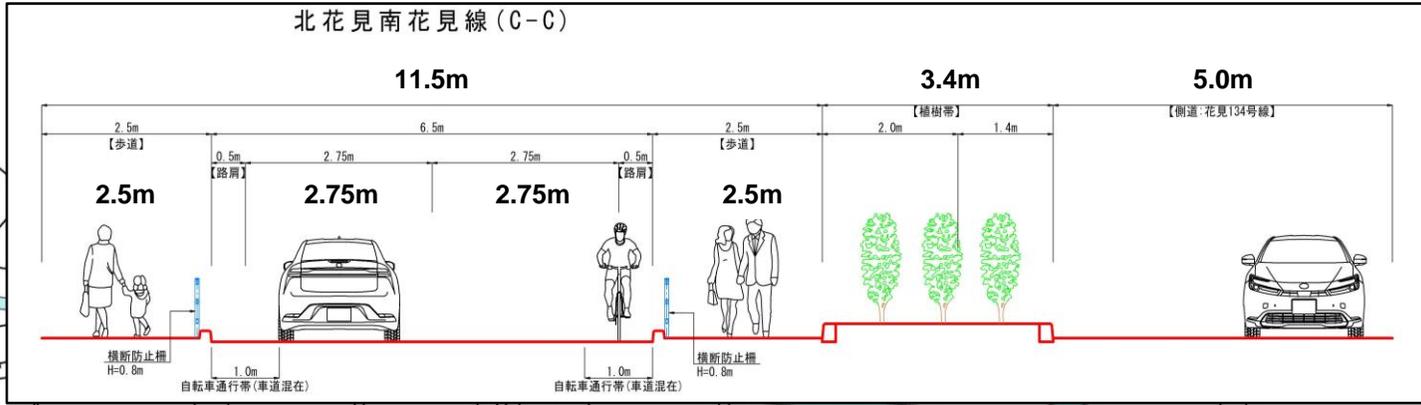
福津側



【昨年度対話集会のご意見で取り入れた事項】

- 既存道路の活用
- 接続道路の変更
- 車両速度抑制の検討
- 冠水対策検討

3 整備（案）拡大平面図（1/3）



3 整備（案）拡大平面図（1/3）

【事例紹介】大阪府

ラウンドアバウト



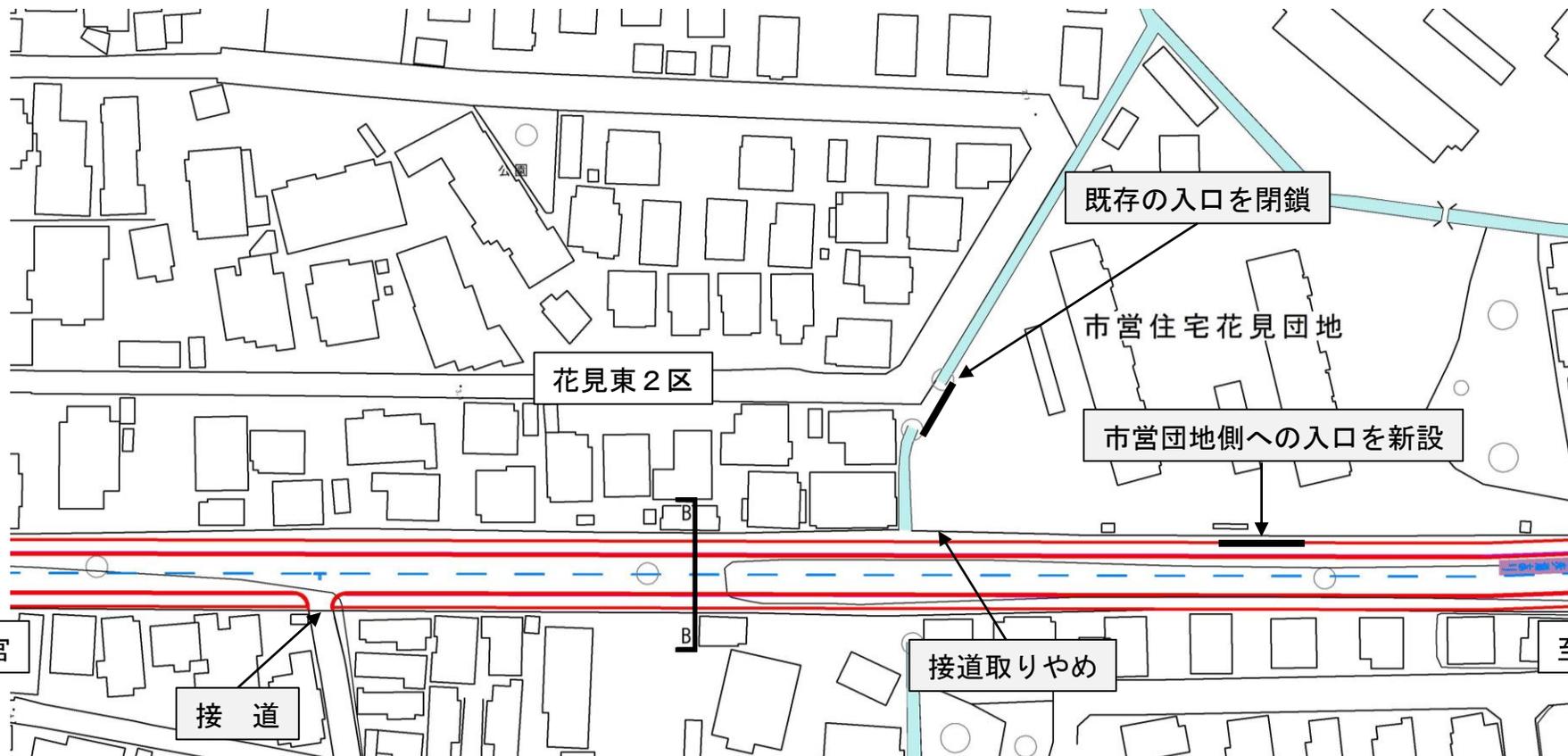
ラウンドアバウト（環状交差点）は欧米諸国で多く採用されている交差点形式であり、一時停止無視や信号無視などで発生する**交差点での事故を抑制**する効果が期待できる。

3 整備（案）イメージ図

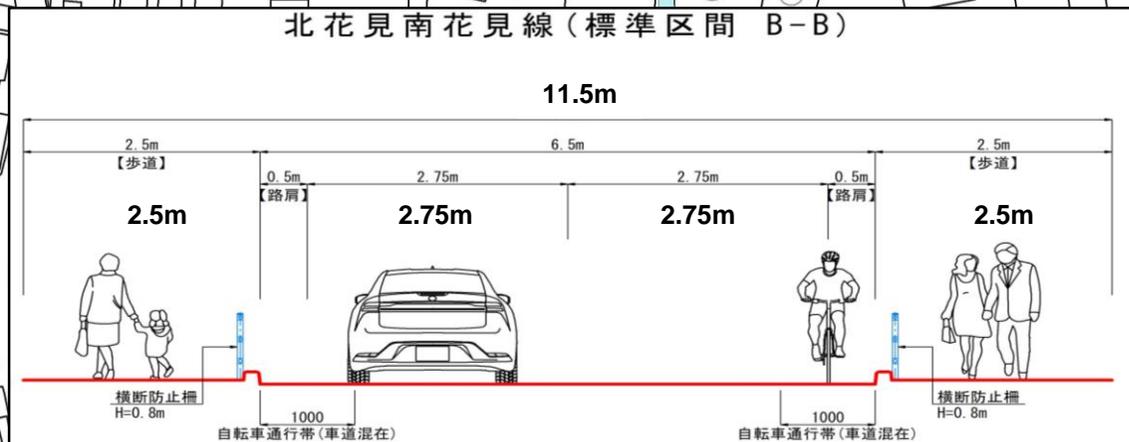
花見東1区、北花見区側



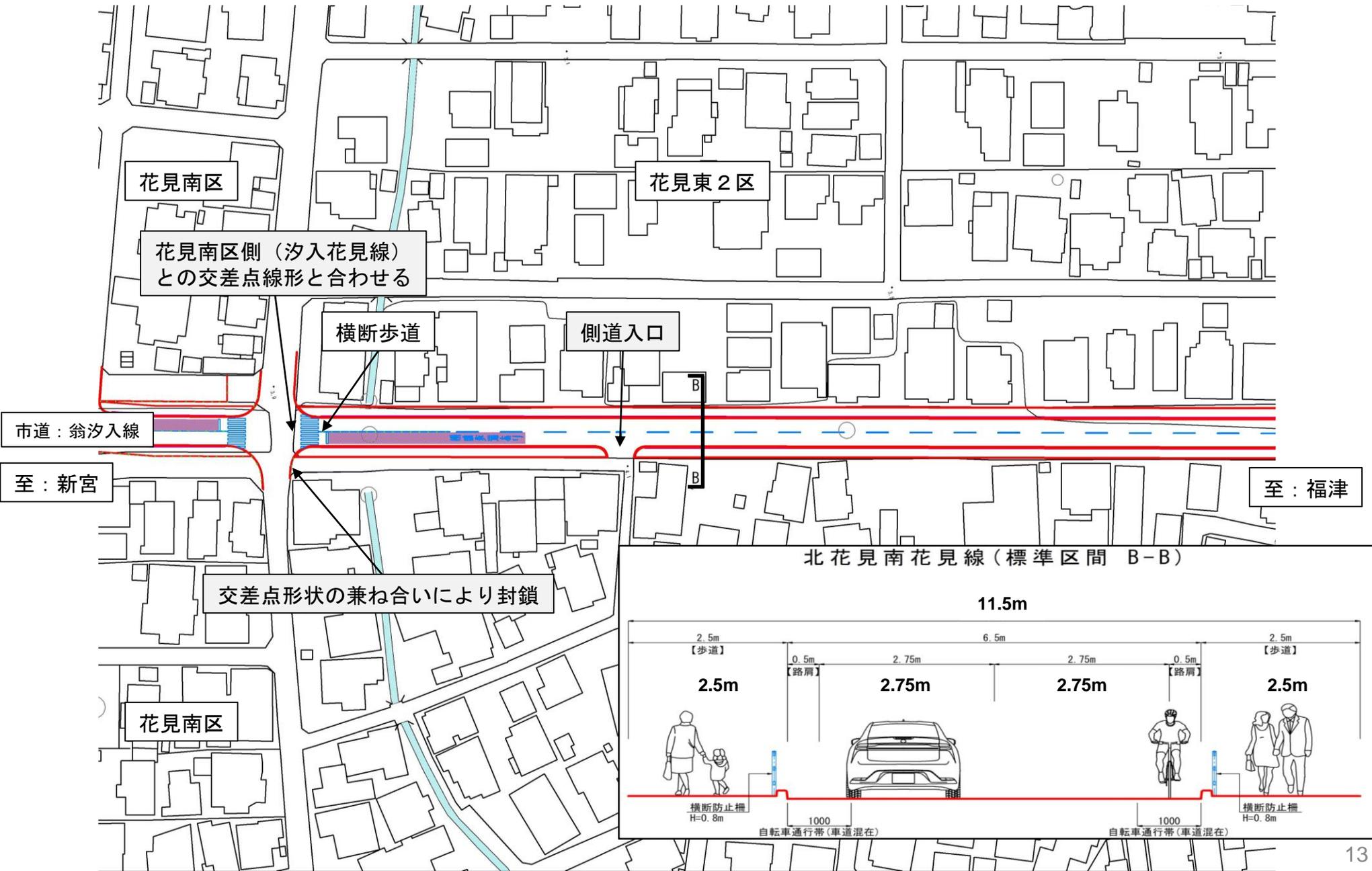
3 整備（案）拡大平面図（2/3）



至：新宮 至：福津



3 整備 (案) 拡大平面図 (3/3)



3 整備(案)イメージ図

花見東2区、花見南区側



終点側交差点

北花見区

花見東1区

花見東2区

花見南区



動画再生

VR動画のため参考のイメージとしてご覧ください。

3 整備（案）近傍での事例紹介

花見南区（約2000台/日） 翁汐入線



矢羽根型路面標示

3 整備（案）近傍での事例紹介

花鶴丘地区（約7500台/日）後牟田大池線



4 意見交換



5 今後の進め方



①地元での対話集会 → ②概略設計 → ③詳細設計 → ④工事

R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
対話集会	今年度 測量 概略設計 平面図 作成	詳細設計				
			工事期間			